

東海交通研究会・中津川市記者クラブ同時配布資料  
岐阜県政記者クラブ加盟社各位



令和5年10月31日(火)岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
航空宇宙産業課	—	山田 俊郎	内線 3761 直通 058-272-8836 FAX 058-278-2653
中部運輸局 交通政策部	環境・物流課	鈴木 隆史	052-952-8007
中津川市 商工観光部	商業振興課	丹羽 栄作	0573-66-1111 内線 4265

## 中山間地域の物流課題に取り組むため 「編隊飛行によるドローンと自動配送ロボットを連携した 配送の実証実験」を実施します

ドローン物流は、山間部や離島等における日用品や医薬品などの物流網の維持や災害時の物資輸送など、地域における社会問題の解決の手段として、その活用が期待されています。

このたび、岐阜県ドローンビジネス推進研究会<sup>\*1</sup>のモデル事業として、花王株式会社が国土交通省の事業採択<sup>\*2</sup>を受けて、ドローン物流を社会実装する際に必要となる事項を検証するための先導的な実証実験を中津川市において実施します。



### 記

- 実施日時** 令和5年11月9日(木) 12:50～14:30  
 (12:30から受付開始)  
 (荒天時は、11月10日(金)もしくは12月6日(水)・7日(木)に延期)
- 実施場所** 中津川市坂下地区  
 離陸場所： 坂下小学校グラウンド  
 着陸場所： 椈の湖オートキャンプ場 (取材場所)  
 飛行距離： 約2km

- 3 実施内容
- ・ 3機のドローンを用いた編隊飛行を行い、1機では劣る輸送能力を向上させることができるか検証を行う。
  - ・ 着陸ポートと一体化した自動配送ロボットと連携させることで、ラストワンマイルとなる最終配達地点までの省人化、無人化を確立できるか検証を行う。
- ※詳細な内容については、別紙花王株式会社のご案内を参照。
- 4 実施体制
- 全体総括 花王株式会社  
共同実施者 中津川市  
イームズロボティクス株式会社  
ブルーイノベーション株式会社  
NTTコミュニケーションズ株式会社
- 5 取材申込
- 11月7日(火)17時までに下記宛にメールにてお申込みください。  
花王株式会社 企業PR戦略部  
待本 (e-mail:machimoto.masaya@kao.com)  
※詳細な内容については、別紙花王株式会社のご案内を参照
- 6 地域貢献
- ドローンを身近に感じてもらうため、坂下小学校高学年児童に実証実験を見学してもらい、実験終了後、同校体育館にてドローンワークショップを開催する予定です。
- 7 その他
- 当日の天候によって実証内容が変更となる場合があります。

※1：岐阜県ドローンビジネス推進研究会

県内に集積する航空宇宙産業の特徴を活かした、ドローン製造ならびにドローンの利活用を促進するため、令和5年1月19日に設立



※2：無人航空機等を活用したラストワンマイル配送実証事業（国土交通省）

- 過疎地域等における課題を解決するため、レベル4飛行に対応したドローン物流や、ドローンの離発着前後の配送を担う自動配送ロボット等と連携した物流等を社会実装する際に必要となる事項を検証する先導的な実証事業
- スケジュール 令和5年6月中～令和6年1月末まで 実証事業  
令和6年3月末まで 成果報告
- 本件を含む10事業が採択

報道関係者各位

2023年10月31日

花王株式会社

## 編隊飛行によるドローンと自動配送ロボットを連携した ラストワンマイル配送の実証実験・説明会のご案内

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

花王グループは、人々のこころ豊かな暮らしと、持続的に発展し循環する思いやりある社会の実現をめざし、持続可能なサプライチェーンの構築に取り組んでいます。

このたび、本年11月9日(木)、国土交通省による「無人航空機等を活用したラストワンマイル配送実証事業」として、岐阜県中津川市をはじめ、編隊飛行のドローン輸送に関する技術を有する会社などと協働し、編隊飛行によるドローンと自動配送ロボットを連携したラストワンマイル配送の実証実験の実施、ならびに説明会を開催いたします。

ご多用とは存じますが、ご出席とご取材を賜りたく、ご案内申し上げます。

### <説明会・実証実験概要>

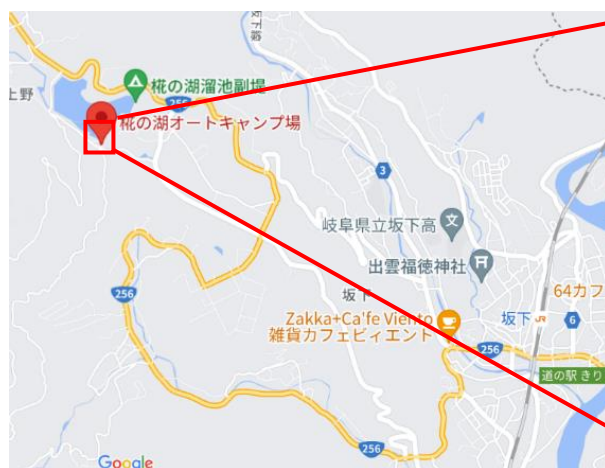
#### ■日時：2023年11月9日(木) 12:50~14:30 (開場12:30) 予定

12:50~説明会/ 13:20~実証実験/ 13:40~写真撮影・質疑応答

#### ■場所：桜の湖オートキャンプ場

〒509-9231 岐阜県中津川市上野589-17

【参考】JR中央本線「坂下駅」下車、タクシーにて約10分



#### ■集合：桜の湖オートキャンプ場

12:30より弊社担当が案内板を持ってキャンプ場入り口付近でお待ちしております。

※キャンプ場には駐車場の用意もごさいます。お車でお越しの場合は事前にご連絡ください。

※荒天時は11月10日(金)、もしくは12月6日(水)・7日(木)に延期。

延期の場合は、**11月6日(月) 12時まで**にご案内いたします。

#### ■出席者：花王株式会社

山下 太 (SCM部門 ロジスティクスセンター長)

### <当日の主な流れ>

12:50～説明会 @栴の湖オートキャンプ場	1. ご挨拶（中津川市長） 2. 花王がめざすドローン物流について（花王）
15:30～実証実験 @栴の湖オートキャンプ場	<b>&lt;検証内容&gt;</b> ・3機のドローンによる編隊飛行で、一括輸送の効果を検証 ・自動配送ロボットに直接着陸後、自動走行して目的地への無人移動を検証（ラストワンマイルを想定） 1. 中津川市立坂下小学校校庭を離陸（13:20） 2. 栴の湖オートキャンプ場に待機する自動走行ロボットへの着陸（13:30）
13:40～ 写真撮影・質疑応答 @栴の湖オートキャンプ場	花王、中津川市、イームズロボティクス、ブルーイノベーション、NTTコミュニケーションズ
～14:30	全体終了予定

※当日撮影いただけるのは、ドローンの着陸のタイミングとなります。

※誠に恐縮ですが、ご出席いただける場合は11月7日(火)17時まで下記宛にメールにてご連絡ください。

(お問い合わせ) 花王株式会社 企業PR戦略部 電話:03-3660-7041

待本 (e-mail:[machimoto.masaya@kao.com](mailto:machimoto.masaya@kao.com) / 電話:080-2244-8385)

## **花王のめざすサプライチェーン**

花王は、多様化する生活者のニーズに柔軟に対応できるマーケティングとモノづくりに向けて、需給計画や生産・物流機能の最適化・自動化・一体運営など持続可能なサプライチェーンの構築に向けさまざまな取り組みを進めています。また、トラックドライバーの不足やEコマース市場の拡大による輸送量の増加など物流課題に対応するため、他メーカーや物流事業者、卸売業者、販売店などと広く連携してサプライチェーン情報を共有し、共同輸送など効率化を実現する共創型物流プラットフォームの構築にも取り組んでいます。そして、多様なパートナーとの協働や先端技術の活用により、人と社会と地球にやさしい持続可能なサプライチェーンの構築をめざしています。

2020年12月リリース

[花王・ライオンが協働してスマート物流への取り組みを開始](#)

2022年10月リリース

[和歌山下津港RORO船定期航路化による製品安定供給と環境負荷低減の取り組み](#)

2023年3月リリース

[豊橋工場に次世代新倉庫が完成](#)

花王グループは、「豊かな共生世界の実現」をパーパスに、2019年にESG戦略「Kirei Lifestyle Plan」（キレイライフスタイルプラン）を策定し、2021年より「未来のいのちを守る～Sustainability as the only path」をビジョンに掲げた中期経営計画に取り組んでいます。また、ビジョンの中では“未来への5つの約束”を明文化しており、今回の取り組みはその中の「誰ひとり取り残さない、着実な一歩。Leave No One Behind」に寄与するものです。

なお、本年9月28日には、兵庫県養父市の山間部において重量運搬ドローンの自動運行技術を用いた一括輸送に関する実証実験を実施しており、それを皮切りに過疎地域や山間部における物流課題の解決と効果的な物流網の構築をめざした取り組みを進めています。今回の実証実験はその第2弾となり、今後もさまざまなドローン技術の特性を活かした実証実験を継続的に実施していく予定です。

2023年7月リリース

[花王、兵庫県養父市と連携協定を締結](#)

## **「01Kao」具現化第2弾**

また、今回の取り組みは、2021年7月より花王グループ全社員を対象にスタートした、社員一人ひとりが持つアイデアを公募し、事業化や社内構造改革等を実現させる制度「01Kao」（ゼロワンカオウ）における具現化第2弾となるものです。花王は、中期経営計画の方針のひとつとして「社員活力の最大化」を掲げており、その一環として「01Kao」は大きな役割を果たしています。